

価格.com「母の日のプレゼント」に関するアンケート結果を発表！

今年の母の日に贈る予定のプレゼント、トップは「お花」、次いで「お菓子」

お母さんが本当にほしいプレゼント 1位は「一緒に夕食」(24.3%)

親子間でのプレゼントに対するギャップが浮き彫りに！

プレゼントの平均予算：実母へ(5,092円)が、義理母(4,897円)より若干多い傾向

株式会社カカクコムが運営する購買支援サイト「価格.com(カカドットコム) : <http://kakaku.com/>」で実施した「母の日のプレゼント」に関するアンケート結果をお知らせします。(回答者数：2,002人)

【結果ダイジェスト】

- プレゼントを贈った経験：実母には81.0%、義母には67.2%が「贈ったことがある」
- 今年の母の日について：実母には58.5%、義母には54.1%が「今年プレゼントを贈る」
- 今年のプレゼント：定番の「カーネーション」がトップ。次いで「お菓子」「一緒に夕食」
- プレゼントの選定理由：「定番だから」「贈る相手の好みのもものだから」が2大理由に
- お母さんがほしいプレゼント：「一緒に夕食」(24.3%)がトップ、「カーネーション」は7位
- プレゼントの平均予算：実母5,092円、義理母4,897円。実母のほうがやや多め

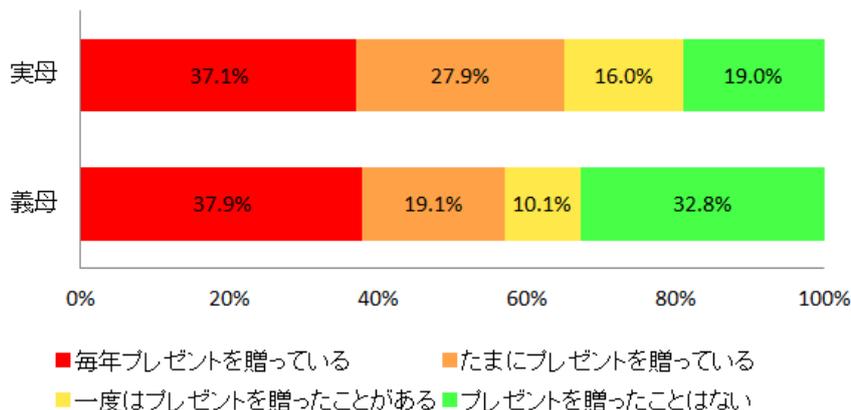
今年の母の日にプレゼントを贈る予定がある人はおよそ6割。予定しているプレゼントは定番品に人気が集まり、「花」「洋菓子」などが上位を占めました。しかし、もらう側のお母さんに本当に欲しいと思っているプレゼントを尋ねると、「一緒に食事をする」「一緒に旅行に出かける」などの人気が高く、物よりも子供と一緒に過ごす時間や思い出作りを希望していることがわかります。プレゼントの平均予算は、実母5,092円、義母4,897円と、実母のほうがやや多めの結果に。

もらう側にとっては、物よりも、この日を理由に子供と一緒に過ごす時間が一番のプレゼントとなるようです。

プレゼントを贈った経験：実母には81.0%、義母には67.2%が「贈ったことがある」。
義母には、毎年贈る派と全く贈らない派に分かれる結果に！

母の日にプレゼントを贈った経験について、実母には、81.0%が一度はプレゼントを贈ったことがあると回答しました。いっぽう、義母に対しては、プレゼントを贈ったことがないと回答した割合が32.8%にのぼり、毎年贈る人と全く贈らない人がはっきり分かれています。

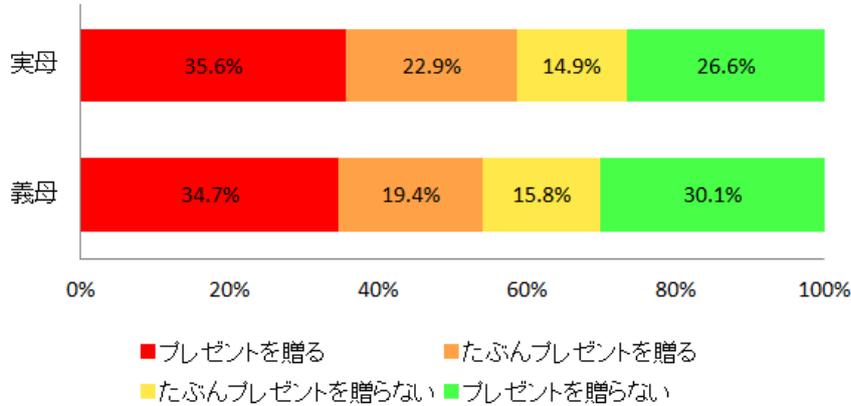
【図1 母の日にプレゼントを贈った経験】



今年の母の日について：実母には 58.5%、義母には 54.1%が「プレゼントを贈る」

続いて、今年の母の日については、実母、義母のいずれに対しても、半数以上が「プレゼントを贈る」「たぶんプレゼントを贈る」と回答しました。

【図2 今年の母の日にプレゼントを贈る割合】



今年のプレゼント：定番の「花（カーネーション）」やお菓子、「一緒に食事」が上位に

今年の母の日に具体的に何をプレゼントする予定か、実母、義母それぞれについて聞きました。定番の「花」「洋菓子」「和菓子」は贈りやすさからか特に人気が高い結果に。商品以外では、「一緒に外食」が上位にあがりました。なお、実母で10位に入っている「自宅で一緒に食事」は、義母ではTOP10 圏外となり、代わりに「商品券・現金」がランクインしました。

【図3 今年のプレゼントランキング TOP10】

実母に贈る予定のプレゼント

順位	項目	回答率
1	花（カーネーション）	27.2%
2	花（カーネーション以外）	19.5%
3	洋菓子	16.3%
4	和菓子	12.2%
5	一緒に食事（外食）	10.6%
6	花以外の植物（観葉植物など）	6.2%
7	グルメギフト	5.1%
8	洋服	4.9%
9	ファッション小物（ポーチ・傘など）	4.8%
10	一緒に食事（自宅）	3.9%

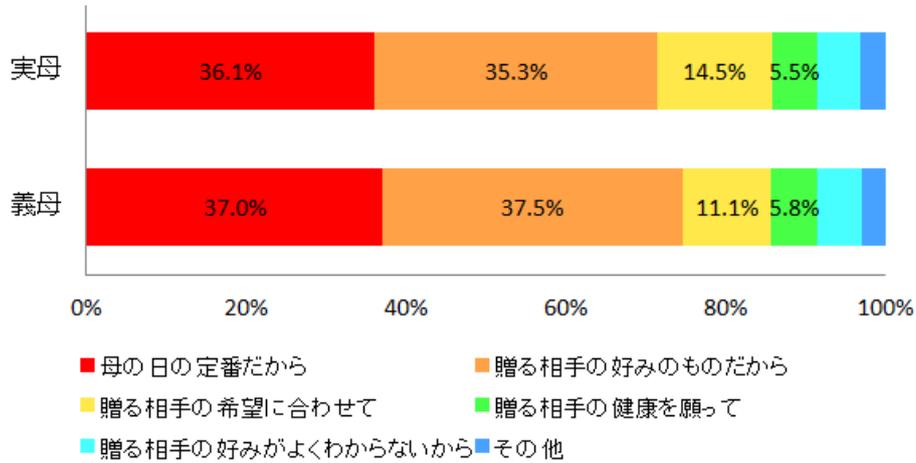
義母に贈る予定のプレゼント

順位	項目	回答率
1	花（カーネーション）	26.8%
2	花（カーネーション以外）	21.8%
3	洋菓子	12.7%
4	一緒に食事（外食）	10.2%
5	和菓子	9.8%
6	洋服	8.2%
7	花以外の植物（観葉植物など）	6.8%
8	グルメギフト	5.9%
9	ファッション小物（ポーチ・傘など）	5.4%
10	商品券・現金	4.1%

プレゼントの選定理由：「定番だから」「贈る相手の好みのもだから」が2大理由に

続いて、今年のプレゼントの選定理由を聞いたところ、実母、義母どちらに対しても「母の日の定番だから」「贈る相手の好みのもだから」の割合がそれぞれ4割程度となりました。また、実母に対しては「贈る相手の希望に合わせて」（14.5%）が義母（11.4%）に比べてやや多くなったのは、親しい間柄ならではの結果といえそうです。

【図4 プレゼントの選定理由】



プレゼントの平均予算：実母 5,092 円、義母 4,897 円。実母のほうがやや多い結果に

今年の母の日のプレゼント予算については、実母はかなりばらつきがありますが、実母、義母ともに 2,000 円～4,000 円くらいまでがボリュームゾーンになっているようです。また、平均では実母は 5,092 円、義母は 4,897 円と、実母への予算のほうがやや多い結果となりました。

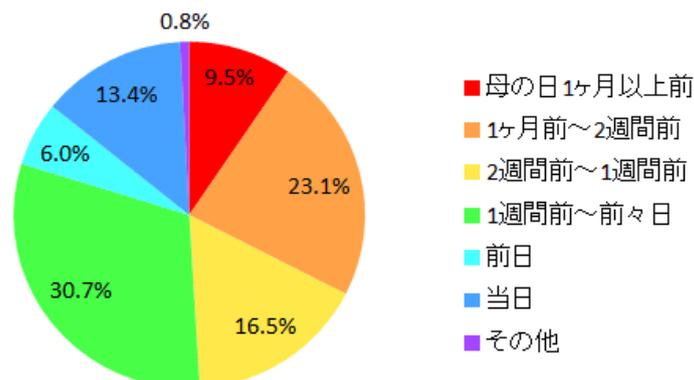
【図5 プレゼントの予算】



プレゼントを準備する時期：「1 週間前～前々日」(30.7%)、「1 ヶ月前～2 週間前」(23.1%)

いつ頃から母の日のプレゼントを準備するかについて、もっとも多いのは「1 週間前～前々日」、次いで「1 ヶ月前～2 週間前」、「2 週間前～1 週間前」と、余裕をもって準備している人も多いことがわかりました。

【図6 プレゼントを準備する時期】



お母さんが本当に欲しいプレゼント：「一緒に夕食」（24.3%）がトップ！

次いで「手紙」「感謝の言葉」「一緒に旅行」。

母の日の定番「カーネーション」は7位で、カーネーション以外の花が5位にランクイン

プレゼントをもらう側のお母さんに、母の日に本当に欲しいものを複数回答で尋ねたところ、「一緒に夕食」「手紙・メッセージ」「感謝の気持ちを言葉で」「一緒に旅行に出かける」など、物以外のプレゼントが上位にランクインしました。贈る側に聞いた今年のプレゼントで上位の「花（カーネーション以外）」はこちらでは5位。定番のカーネーションは7位と、贈る側、贈られる側で意識のギャップが見て取れます。この結果を見ると、お母さんが本当に欲しいのは、物よりも子供と一緒に過ごす時間や思い出作り、ということが言えそうです。他に「家事を代行してもらう」も15.0%となっており、たまには家事から解放されて楽をすることも、お母さんにとっては大きな喜びとなるようです。

【図7 お母さんが本当にほしいプレゼントランキング TOP10】

順位	項目	回答率
1	一緒に食事（夕食）	24.3%
2	手紙・メッセージを渡してもらう	17.8%
3	感謝の気持ちを言葉で伝えてもらう	16.8%
4	一緒に旅行	15.9%
5	花（カーネーション以外）	15.0%
5	家事を代行してもらう	15.0%
7	花（カーネーション）	12.1%
8	商品券・現金	9.3%
9	洋菓子	8.4%
9	和菓子	8.4%

<フリーアンサー> 母の日にプレゼントをもらって嬉しかったエピソード

自分のことを考えて贈ってくれる気持ちや、その時の思い出に対する喜びを感じる意見が多くあがっています。

【図8 母の日にプレゼントをもらって嬉しかったエピソード（フリーアンサー）】

回答	年代
息子が学童保育でカードを作って渡してくれたこと。「おかあさん、だこ（だっこ）してくれてありがとう」とまだ拙い言葉で書いてあったけれど、とても感動しました。今でも大事に持っています。	30代
旅行と一緒に行って、あわびを食べたり伊勢海老を食べたり美味しさに感動したのが思い出です。	40代
娘夫婦からもらったケーキが美味しくて、うっかり毎週食べたいと言ったら本当に翌週に送られて来た。	40代
娘が、就職して二ナリッチのキーホルダーとパスケースをプレゼントしてくれました。娘からのプレゼントは初めてでした。	50代
何もしなくていい日を設けてくれて、家事、料理を用意してくれて、最高の日です。	50代
幼い時から、毎年息子が何らかの物をプレゼントしてくれている。学校からの帰宅が遅いと心配していたら、遠くの花屋まででかけて花を買って来てくれたのは、嬉しい思い出。	50代
息子が一人暮らしをして、初めての母の日、デパートから私の大好きな高い紅茶を3缶もセットにして送ってくれた。	50代
幼い頃の子供たちがイラスト入りのお祝いメッセージを贈ってくれたのがとても嬉しかった。	50代

<フリーアンサー> 母の日にプレゼントをもらって困った・悲しかったエピソード

「もらったプレゼントが好みに合わなかった」、「母の日を忘れられていた」という意見が目立ったいっぽうで、「何をもらっても嬉しい」といった回答も多く、プレゼントの内容にかかわらず、気持ちそのものを嬉しく感じるケースが多いようです。

【図9 母の日にプレゼントをもらって困った・悲しかったエピソード（フリーアンサー）】

回答	年代
使いようのない置物	40代
財布、身に着けるもの。好みが違うのでギフト券のほうが嬉しいです。	40代
嬉しくなかったことはない、仮に好みの物でなくても 気持ちが嬉しい。	50代
母の日を忘れられていました。	50代
お菓子を持ってくるのはありがたいのですが、痩せようと思っているときに持ってくると困る。	60代
高額なものを無理して買ったことが解ったとき。	60代
スカーフは、使う機会がないので。	60代
バッグ。たくさんあるので。	60代
コーヒーメーカーをもらったが、1人分ずつしかできず面倒で仕舞ってしまった。	70歳以上

【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査 回答者数：2,002人

男女比率：男 90.2%：女 9.8%

調査期間：2015年3月6日～2015年3月12日

調査実施機関：株式会社カカクコム ※四捨五入による端数処理のため合計が100%にならないことがあります。

【価格.com サイトデータ】（2014年12月現在）

月間利用者数 5,225万人、月間ページビュー9億8,700万PV、累計クチコミ件数約1,900万件

<利用者内訳> PC：2,979万人 スマートフォン：2,202万人 フィーチャーフォン：44万人

【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカクコム 広報室 e-mail: pr@kakaku.com

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…